

2026年度 酪農学研究科 修士課程 第1期入学試験問題

(選択： 飼料作物学) 受験番号： _____

下記7題から3題を選び、それぞれのキーワードを適切に使用して解答しなさい。なお、4題以上の解答に対しては、高得点を得た3題の合計点をもってその答案を評価します。

1. イネ科作物とマメ科作物の形態の違いについて、下記のキーワードを用いて説明しなさい。

キーワード：複葉、葉柄、調位運動、分げつ、分枝、穂、莢(さや)のつき方、子葉、胚乳

2. 北日本におけるダイズの子実収量とその構成要素、およびこれらを左右する栽培条件、品種特性、気象条件について、下記のキーワードを用いて説明しなさい。

キーワード：播種適期、有限伸育性、無限伸育性、開花期、莢伸長期、成熟期、感温性、日長感応性、窒素施肥、根粒菌、生育不良型冷害、障害型冷害、遅延型冷害

3. バレイショの生育過程(栄養成長期と生殖成長期の関係に着目)、収穫適期、栽培特性および品種特性(用途別に着目)について、下記のキーワードを用いて説明しなさい。

キーワード：ストロン伸長期、塊茎肥大期、茎葉黄変期、茎葉枯ちよう期、浴光催芽、培土、生食用、加工用、デンプン原料用、リコンディショニング

4. トウモロコシの収穫適期について用途別に下記のキーワードを用いて説明しなさい。

キーワード：デントコーン、フリントコーン、スイートコーン、ミルクライン、黄熟期、完熟期、乳熟期、糊熟期、絹糸、雌穂の先端不稔、ブラックレイヤー

5. 草地とはどのような土地か？人為の影響度合いと利用方法に注目して分類し、その概要を説明するとともに、わが国における草地の役割について解説せよ。

キーワード：自然草地、半自然草地、人工草地、採草地、放牧草地、兼用草地、土地条件、家畜、食料生産、土壌保全

6. チモシーとオーチャードグラスの分げつ消長の特徴を述べ、分げつ密度を維持するポイントを説明せよ。

キーワード：持続型、交代型、春化、長日条件、栄養成長、生殖成長、節間伸長、茎頂、既存分げつ、新分げつ

7. 環境保全的草地管理のうち、水質汚濁への配慮について説明せよ。

キーワード：点源汚染、緩衝帯、河川、直接流入、放牧草地、大腸菌群、面源汚染、汚濁負荷量、表面流去、浅層地下水